国立劇場 ― 国立演芸場 ― 国立能楽堂 ― 国立文楽劇場 ― 伝統芸能情報館
国立劇場おきなわ ― 新国立劇場 ― 芸術文化振興基金

September 2022 09

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council News

＼PICK UP／

東京 国立劇場（小劇場）

初代国立劇場 さよなら公演

9月文楽公演

9月3日(土)～20日(火)※8日(木)は休演

料金 7,000円(1等席)・6,000円(2等席)
★通し割引[第一部+第二部] 13,000円(1等のみ)

販売 好評発売中

第一部 11時開演（13時35分終演予定）

碁太平記白石噺（ごたいへいきしらいしばなし） 田植の段／逆井村の段

奥州のある百姓が殺害され、悲嘆にくれる遺族たちの前へ現れた浪人の登場に物語が大きく変わります。姉妹が亡父の敵の侍を討った実話を劇化し、江戸幕府に反抗を企てた由比正雪をモデルとした人物を軸にした物語です。この第一部は事件の発端から、五十一年ぶりの上演となる「逆井村の段」までを上演し、第二部の江戸篇につなげます。

第一部『碁太平記白石噺』逆井村の段

第二部 14時15分開演（16時30分終演予定）

寿柱立万歳（ことぶきはしらだてまんざい）・碁太平記白石噺（ごたいへいきしらいしばなし） 浅草雷門の段／新吉原揚屋の段

【寿柱立万歳】家屋を建てる際初めて柱を立てる儀式〝柱立〟を描いたこの演目で、建て替えに臨む国立劇場の前途も祝します。
【碁太平記白石噺】第二部の江戸篇では、殺された父の仇討への決意を気丈に示した娘が、吉原の廓で傾城をしている姉に再会し、姉妹手を携えて仇討に向かおうとします。江戸の盛り場、絢爛たる廓を舞台に、哀しい業を負った人々の哀感、心配りが織り込まれます。

第二部『碁太平記白石噺』新吉原揚屋の段

第三部 17時15分開演（20時40分終演予定）

奥州安達原（おうしゅうあだちがはら） 朱雀堤の段／敷妙使者の段／矢の根の段／袖萩祭文の段／貞任物語の段／道行千里の岩田帯

朝廷と対立した奥州の豪族・安倍頼時が源頼義・義家親子に滅ぼされた「前九年の役」を基にし、頼時の遺子・貞任、宗任兄弟が安倍家再興と奥州独立をめざして闘いを挑むという壮大な物語です。天皇の弟宮・環の宮が失跡した事件をきっかけに、その責めを負った守り役とその家族の悲嘆、復讐に燃える貞任、宗任兄弟の深謀が繰り広げられます。

第三部『奥州安達原』袖萩祭文の段

東京 国立演芸場

初代国立演芸場 さよなら公演

9月特別企画公演

「演芸大にぎわい ～東から西から～」

9月23日(金・祝)・24日(土)
15時30分開演(18時終演予定)

料金 3,300円 販売 好評発売中

9月23日(金・祝)		9月24日(土)	
講談	田辺　凌鶴	漫談	寒空　はだか
紙切り	青空　麒麟児	和妻	和田　奈月
上方漫才	シンデレラエキスプレス	漫才	ナイツ
落語	三笑亭　夢太朗	上方落語	笑福亭　福笑
―仲入り―		―仲入り―	
漫才	東　京太・ゆめ子	浪曲	東家　三楽 曲師＝伊丹　秀敏
粋曲	悠玄亭　玉八	曲独楽	やなぎ南玉
上方落語	笑福亭　鶴光	落語	柳家　小さん

東京 国立能楽堂

10月定例公演

「鶏聟」「浮舟 彩色」

10月21日(金)17時30分開演(19時45分終演予定)

料金 5,000円(正面)・3,300円(脇正面)・3,000円(中正面)

販売 《電話・インターネット予約》9月10日(土)10時より
《窓口販売》9月11日(日)より

狂言【大蔵流】
鶏聟（にわとりむこ） 山本則秀

能【観世流】
浮舟（うきふね） 彩色（さいしき） 観世銕之丞

【鶏聟】 聟入りの作法として聟が教えられたのは、なんと闘鶏の真似でした。素直に信じた聟は鶏の真似を始め、それを見た舅は…。
【浮舟】 宇治の里に現れた女は光源氏の子・薫中将と貴公子・匂宮、二人の男性の愛に悩み苦しんだ浮舟の霊でした。『源氏物語』宇治十帖を題材に能独自の脚色がなされた作品です。

チケットお申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場
☎ 0570-07-9900/03-3230-3000[一部IP電話等](10時～18時)
国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999(10時～18時)
新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ ☎ 098-871-3350(10時～17時30分)
国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問合せください。 本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。

東京
チケットお申込み ☎0570-07-9900（10時～18時） 国立劇場チケットセンター 検索

初代国立劇場／国立演芸場さよなら公演　各劇場の主催公演　貸劇場公演
（貸劇場公演については、それぞれ記載の電話番号等にお問合せください。）

9月　国立劇場／国立演芸場／国立能楽堂

日	国立劇場 大劇場	国立劇場 小劇場	国立演芸場	国立能楽堂
1 木			上席（1日～10日）13:00	
2 金				
3 土	尾上菊之丞の会 ▶尾上流事務所 03-3541-6344	9月文楽公演（3日～20日）※8日(木)は休演 ■第1部〔11:00開演〕「碁太平記白石噺」田植の段／逆井村の段 ■第2部〔14:15開演〕「寿柱立万歳」「碁太平記白石噺」浅草雷門の段／新吉原揚屋の段 ■第3部〔17:15開演〕「奥州安達原」朱雀堤の段／敷妙使者の段／矢の根の段／袖萩祭文の段／貞任物語の段／道行千里の岩田帯	桂雀々独演会 ▶ときめきチケットセンター 03-6300-6510	上妻宏光「生一丁！」Tour2022 ▶キョードー東京 0570-550-799
4 日			立川談笑独演会 ▶夢空間 0570-06-6600	
5 月				
6 火			真一文字の会～春風亭一之輔勉強会～ ▶柳亭市馬事務所オフィスエムズ 03-6277-7403	
7 水				13:00 定例 狂言「鶏泣」能「自然居士」
8 木				
9 金			第23回ワザオギ落語会 ▶柳亭市馬事務所オフィスエムズ 03-6277-7403	
10 土	第56回推薦名流舞踊大会 ▶東京新聞文化事業部 03-6910-2345			13:00 普及 狂言「昆布売」能「殺生石」
11 日	藤間流藤盛会東京支部舞踊会 ▶藤間流藤盛会東京支部 080-9423-0658		中席（11日～20日）13:00	金春会定期能 ▶金春会 03-5370-1266
12 月				
13 火			《噺小屋》一天四海 —龍志・扇遊・鯉昇・正蔵の会— ▶いがぐみ 03-6909-4101	
14 水				東京能楽囃子科協議会夜能 ▶カンフェティ 0120-240-540
15 木			猫じゃ猫じゃの会 ▶オフィスひざふに 03-5392-8486	
16 金				17:30 定例 狂言「舎弟」能「松虫」
17 土	坂東会創立百周年記念舞踊会 ▶坂東会 03-3518-8210		18:00 第522回 花形演芸会	東京金剛会第三回例会 ▶東京金剛会 0422-32-2796
18 日			十一代桂文治襲名十周年記念落語会 ▶桂文治後援会事務局 090-8007-7894	
19 月	七代目杵屋和吉襲名披露公演 ▶公演事務局 090-1772-8014		第80回扇辰・喬太郎の会 ▶いがぐみ 03-6909-4101	鍈仙会特別公演 ▶鍈仙会 03-3401-2285
20 火				
21 水				
22 木				
23 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅰ」		15:30 特別企画公演「演芸大にぎわい～東から西から～」	13:00 企画 ◎復曲の会 復曲狂言「空腹」復曲能「薄」
24 土				櫻詠会 ▶山中一馬 090-9372-7581
25 日	第35回記念城北ブロック舞踊公演 ▶西川扇重郎 090-8476-4319	前進座爽秋公演『雨あがる』▶前進座 東京事務所 0422-49-2811	13:00 第461回 国立名人会	坂井清音会秋の大会 ▶坂井音雅 03-3469-5288
26 月				
27 火				
28 水			第14回神田紅独演会 芸道45年 ▶クロスポイント 03-3405-4990	
29 木			若旦那の会 ▶金原亭小駒 080-6543-2047	
30 金				宗家藤間流藤間会別会 ▶TOMABUNE 03-6812-9592

大阪
チケットお申込み ☎0570-07-9900（10時～18時） 国立劇場チケットセンター 検索

9月　国立文楽劇場

日	文楽劇場	小ホール
1 木	東海道四谷怪談 ▶劇団前進座 関西事務所 06-6212-9600	
2 金		
3 土		第10回紫近の会 ▶藤間紫近 06-6191-6126
4 日		
5 月		
6 火		
7 水		
8 木		
9 金		
10 土	13:00 特別企画公演「法隆寺の聖霊会」	
11 日	尼崎邦舞協会第11回舞踊公演 ▶尼崎邦舞協会事務所 06-7165-6412	第1回関西小唄協会チャリティ小唄会 ▶関西小唄協会 075-371-2228
12 月		
13 火		
14 水		
15 木		
16 金		
17 土		
18 日	都山流大阪府支部 ▶辻凛山 06-6339-0740	
19 月	日本舞踊協会関西支部浪花の会 ▶日本舞踊協会関西支部 090-6730-7174	
20 火		
21 水		13:00 第121回 上方演芸特選会
22 木		13:00
23 金		13:00
24 土	正義流「吟と舞」発表会 ▶正義流詩舞同好会総本部 072-835-0381	13:00
25 日	雅楽寮日本雅友会第29回雅楽定期公演 ▶日本雅友会事務局 0595-45-1166	花柳旭扇ゆかた会 ▶花柳旭扇 06-6671-4739
26 月		
27 火		
28 水		
29 木		
30 金		

東京
チケットお申込み ☎03-5352-9999（10時～18時） 新国立劇場 検索

9月　新国立劇場

日	オペラパレス	中劇場	小劇場
1 木	オペラ「日蓮の宇宙曼荼羅世界」▶オペラ日蓮実行委員会 0556-62-1011		
2 金			
3 土		小林紀子バレエ・シアター公演「アシュトン・マクミランプログラム」▶03-3987-3648	
4 日			
5 月			ミュージカル「COLOR」▶ホリプロチケットセンター 03-3490-4949
6 火		牧阿佐美 お別れの会	
7 水			
8 木	東京二期会オペラ劇場「蝶々夫人」▶二期会チケットセンター 03-3796-1831	東京03公演「ヤな覚悟」▶インフォメーションデスク https://information-desk.info/	
9 金			
10 土			
11 日			
12 月			
13 火			
14 水		s**t kingz公演「HELLO ROOMIES !!!」▶キョードー横浜 045-671-9911	
15 木			
16 金	オペラ「聖徳太子」▶東京芸術財団 03-5366-8859		
17 土			
18 日			
19 月			
20 火			
21 水			
22 木			
23 金			
24 土			
25 日			
26 月			
27 火			
28 水		19:00 演劇公演 海外招聘公演「ガラスの動物園」（9月28日～10月2日）	
29 木		13:00	「きっとこれもリハーサル」▶公演事務局 https://supportform.jp/event
30 金		13:00	

沖縄
チケットお申込み ☎098-871-3350（10時～17時30分） 国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

9月　国立劇場おきなわ

日	大劇場	小劇場
1 木		
2 金		
3 土		
4 日	しゃかりコンサート2022 ▶フェルマータ. 098-943-1550	琉球舞踊 蓬莱6 ▶シアター・クリエイト 090-3074-8295
5 月		
6 火		
7 水		19:00 新国立劇場演劇研修所第16期生 朗読劇「ひめゆり」※
8 木		
9 金		
10 土		
11 日		組踊発表会「柳糸2—りゅうし—」▶名嘉山）080-7987-1874 仲 村）090-9480-7714
12 月		
13 火		
14 水		
15 木	14:00 沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	
16 金	14:00	
17 土	14:00	
18 日	沖縄復帰50周年記念「いのちの祝祭」▶沖縄タイムス社 098-860-3588	敬老の日公演 劇団うない ▶事務局（久米）090-7570-8128
19 月		
20 火		
21 水		
22 木		
23 金		玉城流踊い飛琉～うどぅいはる～ ▶城間 090-1948-5575
24 土	14:00 琉球舞踊公演「男性舞踊家の会」	
25 日	14:00	第一回國吉優子リサイタル「一歩」▶國吉 090-7585-7907
26 月		
27 火		
28 水		
29 木		
30 金		

※9月7日「ひめゆり」：チケット等のお問合せは新国立劇場まで。

今月の注目はこちら PICK UP

国立劇場

9月舞踊公演 初代国立劇場さよなら公演
「舞踊名作集Ⅰ」
9月23日（金・祝）14時開演（17時35分終演予定）

清元【四季三葉草】尾上墨雪（翁）／尾上 紫（千歳）／尾上菊之丞（三番叟）
義太夫【お七】井上安寿子（お七）
常磐津【粟餅】西川扇与一（杵八）／坂東朋奈（お臼）／西川扇衛仁（田舎侍）／水木扇升（鳥追）／藤間藤槌（矢場女）／花ノ本 寿（福寿草売）／西川申晶（嫁菜摘）
長唄【黒塚】花柳寿楽（阿闍梨祐慶）／花柳源九郎（山伏大和坊）／花柳寿々彦（山伏讃岐坊）／花柳寿太一郎（強力太郎吾）／花柳 基（老女岩手実は安達原の鬼女）

料金 1等席9,000円／2等席6,000円／3等席3,500円
販売 好評発売中

国立文楽劇場

特別企画公演
聖徳太子御遠忌一四〇〇年記念**「法隆寺の聖霊会」**
9月10日（土）13時開演（15時40分終演予定）

行道／舞楽 振鉾／唄匿／散華／舞楽 萬歳楽／伽陀／太子講式／太子和讃／舞楽 蘇莫者 ほか
【出演】聖徳宗総本山法隆寺／公益社団法人南都楽所
「聖霊会（お会式）」は、聖徳太子の遺徳を讃え供養する法要です。いにしえの聖徳太子の法徳に思いを馳せつつ、絢爛たる空間に満ちる祈りの声と雅楽の響きに浸る『法隆寺の聖霊会』にどうぞご参集ください。

料金 5,500円　販売 好評発売中

新国立劇場

演劇
海外招聘公演 **「ガラスの動物園」**
9月28日（水）～10月2日（日）

【作】テネシー・ウィリアムズ 【演出】イヴォ・ヴァン・ホーヴェ
フランス、パリの国立オデオン劇場の協力のもと、2020年にオデオン劇場制作によりワールドプレミアを迎えた作品を招聘し日本初演します。主演のアマンダ役にはフランスを代表する女優のイザベル・ユペール、演出には今最も世界が注目する演出家イヴォ・ヴァン・ホーヴェがあたります。

料金 S席11,000円／A席7,700円／B席4,400円／Z席（当日のみ）1,650円
販売 好評発売中

国立劇場おきなわ

普及公演
沖縄芝居鑑賞教室 **「黒島王物語」**
9月15日（木）～17日（土）14時開演

沖縄芝居をより親しみやすく感じていただけるよう、初めて鑑賞する方にも見やすい作品を上演する沖縄芝居鑑賞教室。昨年、好評を博した渡嘉敷守良作の「黒島王物語」を再度取り上げて上演します。また第一部では、琉球舞踊や短編喜歌劇の上演に加え、沖縄芝居の歴史や鑑賞のポイントを紹介するなど、沖縄芝居の魅力をご堪能いただきます。

料金 2,300円　販売 好評発売中

展示情報
入場無料！
伝統芸能をさらに深く学べます。

伝統芸能情報館（国立劇場敷地内）
入門展「いざ、歌舞伎」
開催中・10月26日(水)まで

歌舞伎は四百年以上の歴史の中で、各時代の役者、狂言作者、職人、そして観客が力を合わせて創り上げた、知恵と美意識の結晶といえるものです。本展は初めて歌舞伎をご覧になる方や歌舞伎についてもう少し深く知りたい方にも、基本的な約束事やその味わい方をわかりやすくご紹介します。10時～18時開室、9月休室日：なし
☎03-3265-7061(直)

国立演芸場（1階演芸資料展示室）
企画展「曽我廼家五郎——「喜劇」の誕生」
開催中・11月23日(水・祝)まで

明治末期に上方喜劇の礎を築き、大正から昭和期には日本の喜劇王として君臨した曽我廼家五郎。彼の作品や上演は、現在の松竹新喜劇の人情喜劇の系譜に継承されているとはいえ、その名を知る人は少なくなりました。本展示では、国立劇場所蔵の遺品を中心に曽我廼家五郎の生涯と業績をたどります。10時～17時開室、9月休室日：21・22・26・27・30日
☎03-3265-7061(直)

国立能楽堂（1階資料展示室）
企画展「秋の風　能楽と日本美術」
開催中・10月21日(金)まで

「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」の趣旨に添い、また期間中に行われる能〈松虫〉・復曲能〈薄〉の上演にあわせ、秋をモチーフとした能装束・楽器や同時代の絵画・美術工芸品を対比させながら展示します。
11時～17時開室、9月休室日：5・12・20・26日
☎03-3423-1331(代)

国立文楽劇場（1階資料展示室）
入門展示「文楽へようこそ」
開催中・9月25日(日)まで

文楽を初めてご観劇される方でも、文楽の歴史や、太夫・三味線・人形等の基本的な内容への理解を深めていただける展示です。夏休み文楽公演にちなんだ資料を展示しています。舞台写真とあわせた文楽作品のあらすじの紹介もございますので、お気軽にお立ち寄りください。10時～18時開室、9月休室日：なし
☎06-6212-2531(代)

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金（文化芸術振興費補助金）を財源とする助成事業を行っています。

今月のTOPICSはこちら

◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出えん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度１回（国内映画祭等の活動は年２回）、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動（文化会館公演）	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動（美術館等展示）	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018

芸術文化振興基金ご支援（寄附）のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。

趣旨にご賛同頂き、格段の御協力、御支援をお願いいたします。

第32期文楽研修生募集のお知らせ（令和５年４月開講）

国立文楽劇場を運営する独立行政法人日本芸術文化振興会では、文楽の伝承者を養成するため、公益財団法人文楽協会の協力のもとに、将来舞台で活躍する志をもつ研修生を募集します。受験料・受講料は無料です。

応募資格	中学校卒業（卒業見込みを含む）以上の男子で、原則として23歳以下の者。経験不問。
応募期間	令和４年10月３日（月）から令和５年２月17日（金）まで
研修期間	令和５年４月から令和７年３月までの２年間。研修開始後８か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。
研修場所	大阪・国立文楽劇場（文楽の東京公演時は国立劇場〈東京都千代田区〉他）
宿舎	遠隔地に居住する研修生に対し、希望者には審査のうえ宿舎を有料で貸与します。空室がない場合は住宅費補助金を給付します。
奨励制度	希望者には伝統芸能伝承奨励費を貸与します。（研修修了後、一定の条件を満たした場合の返還免除規定があります。）
修了後	幹部技芸員に入門、公益財団法人文楽協会と契約し、技芸員として舞台出演することになります。

◎応募要項等、詳細はホームページをご覧ください！

文楽とは

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線弾き、人形遣いの三業が心をあわせて一つの舞台を作り上げる総合芸術です。江戸時代初期に大坂で生まれ、いつの時代でも変わらない人間の情を描いてきました。文楽の技芸員（太夫・三味線・人形）のうち約半数は、この文楽研修修了者です。

太夫は、登場人物すべての台詞・心理・動作などを１人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担っています。義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。

文楽では、太棹と呼ばれる三味線を用います。三味線弾きはその太く低い響きにより、浄瑠璃の感情を表現します。基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいきます。

文楽では、一体の人形を主遣い・左遣い・足遣いの３人で操ります。研修では、人形遣いの出発点ともいうべき“足遣い”を中心に履修します。２年目には、実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

研修だより

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

お問合せ　国立文楽劇場 企画制作課養成係
☎ 06-6212-5529（直通）10時～18時（土・日・祝、12/29～1/3を除く）
✉ bunraku2021@ntj.jac.go.jp　https://www.ntj.jac.go.jp/training/group/bunraku.html

未来へつなぐ国立劇場プロジェクト

多くの皆様にご愛顧いただいてまいりました国立劇場、国立演芸場、伝統芸能情報館は、再整備のため令和５年10月末に一旦閉場・閉館し、令和11年秋に新施設として生まれ変わります。

初代国立劇場さよなら公演（令和４年９月～令和５年10月）

初代国立劇場 さよなら公演

▶９月文楽公演

仇討ち物の名作『碁太平記白石噺』、プロジェクトの成功を祈念する『寿柱立万歳』、義太夫節屈指の大曲『奥州安達原』を三部制で上演

▶10月歌舞伎公演『通し狂言　義経千本桜』

大きな話題となりながら上演中止となった幻の舞台
尾上菊之助の“三役完演”が満を持してついに実現

〔電話・インターネット予約〕９月13日(火)10時より
〔窓口販売〕９月14日(水)より

▶11月歌舞伎公演“歌舞伎＆落語　コラボ忠臣蔵”

落語家・春風亭小朝による「忠臣蔵」にちなむ落語と、中村芝翫が約30年ぶりに早野勘平に挑む『仮名手本忠臣蔵』

また、国立演芸場でも「初代国立演芸場さよなら公演」と題して寄席芸の継承と発展に寄与する魅力ある舞台をお届けします。

初代国立劇場・国立演芸場 あなたの〈思い出〉を大募集

初代国立劇場・国立演芸場の〈記憶〉を未来につなぐため、初代国立劇場・国立演芸場の〈思い出〉を募集いたします。**（令和５年９月30日まで）**
次代に伝えておきたい、皆様の大切な〈思い出〉を教えてください。

①エッセイ部門
テーマ：「国立劇場と私」「国立演芸場と私」（800字以内）
皆様と国立劇場、国立演芸場の思い出を自由にお書きください。別にタイトルをつけていただいて結構です。

②写真部門
テーマ：「思い出の国立劇場」「思い出の国立演芸場」
撮影時期、撮影場所のほか、簡単なコメントも添えてください。

※振興会ホームページや印刷物、その他展示等でご紹介させていただく場合もございます。なお、掲載させていただいた方には、粗品をプレゼントいたします。

詳細は下記のお問合せ先、またはQRコードから。
「初代国立劇場・国立演芸場　思い出募集」係
☎ **03-3265-6602**（平日10時～18時）

動画配信のお知らせ

入門展「いざ、歌舞伎」見どころ紹介動画公開中

国立劇場の伝統芸能情報館で10月26日まで開催中の入門展「いざ、歌舞伎」。その見どころを５つのテーマで紹介するオリジナル動画を無料公開中です。真夜中の展示室、展示中の資料からこっそり抜け出したナゾの二人組と一緒に、歌舞伎の魅力を楽しく発見！

配信サイト　日本博公式YouTubeチャンネル

《国立文楽劇場》文楽プレミアムシアター　第６回

往年の名舞台をオンラインでご覧いただけます。どうぞお楽しみに。

演　　目　「桂川連理柵」六角堂の段・帯屋の段（昭和51年３月　国立劇場）モノクロ
出　　演　竹本越路太夫（四代）、竹澤弥七（十代）、吉田玉男（初代）、豊松清十郎（四代）、吉田簑助（三代）　他
販売期間　10月１日（土）11時～10月21日（金）23時59分
※視聴期間は、レンタル日から２週間です。
視聴料金　2,500円（税込）　配信サイト　MIRAIL（ミレール）

詳細はホームページをご確認ください。

JAPAN CULTURAL EXPO 日本博

「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下に、日本の美を体感する美術展、舞台芸術公演、芸術祭などを、年間を通じ、全国各地で展開しています。https://japanculturalexpo.bunka.go.jp

ROOTS & ARTS SHIRAOI 2022 ―白老文化芸術共創―

日程｜８月27日(土)～10月10日(月・祝)
会場｜白老町内各所

北海道・白老の文化や伝承・人の営みを多様な人たちが関わり再発見・再編集し表現する、新しい旅・地域のカタチを模索するアートプロジェクト。

地域住民と制作した土面／野生の学舎《ホロケナシー土地の記憶》より

特別展「花鳥風月　名画で見る日本の四季」

喜多川歌麿「深川の雪」（部分）江戸時代 享和２～文化３年（1802～06）頃 岡田美術館蔵（展示期間：7/16～10/3）

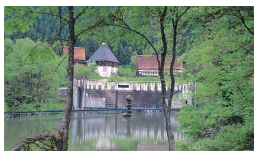
日程｜後期　秋冬編：7月16日(土)～12月18日(日)
会場｜岡田美術館

四季折々の自然や風物を題材とした絵画や陶磁、漆工などの工芸品を展示し、季節の移ろいがどのように表現されてきたかを紹介する展覧会です。

自然と共生する舞台芸術－世界の未来に向けて

富山県利賀芸術公園｜９月２日(金)～11日(日)
静岡県舞台芸術公園 豊岡市出石永楽館｜９月17日(土)～19日(月・祝)
鳥の劇場（鳥取）｜10月１日(土)～２日(日)

利賀を含め４つの地域で、鈴木忠志など国際的に活躍する演劇人の監修のもと、舞台作品の創造を行い、利賀にて合同公演を行います。



「能楽を旅する」2022

岡山後楽園　特別公演｜９月４日(日)13時開演
彦根城　特別公演｜９月24日(土)14時開演

“旅”をキーワードに、様々な角度から能楽の魅力をお届けする本企画。今回は「名城と能楽」と題し、能楽に所縁の深い城を舞台に、能楽公演を開催。

文化芸術活動を未来へ継承するため、２つの基金にご寄附をお願いいたします！

●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。
「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

◉ お問合せ先　基金部企画調査課
◉ 電　話　**03-3265-6302**（平日10時～18時）
◉ E-mail　kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp

復興創造基金のご案内ページはこちら！

●くろごちゃんファンド（国立劇場基金）

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館を応援！様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、調査研究等を応援できます。

◉ お問合せ先　くろごちゃんファンド寄附担当
◉ 電　話　**03-3265-6719**（平日10時～18時）
◉ E-mail　donation@ntj.jac.go.jp

くろごちゃんファンドのご案内ページはこちら！

寄附だより

文化芸術復興創造基金では頂いたご寄附による支援事業をおこなっております。助成を受けた団体の活動報告をウェブページに掲載しておりますので、ご覧ください。
引き続き、皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本芸術文化振興会ニュース　令和4年9月号

令和4年8月20日発行（毎月1回20日発行）
通巻650号（昭和43年5月1日創刊）
発行　独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656
東京都千代田区隼町４-１
☎03-3265-7411（代表）
https://www.ntj.jac.go.jp
印刷　勝美印刷株式会社

●国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656　東京都千代田区隼町４-１　☎03-3265-7411(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/
●国立能楽堂
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷４-18-１　☎03-3423-1331(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html
●国立文楽劇場
〒542-0073　大阪府大阪市中央区日本橋１-12-10　☎06-6212-2531(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html
●新国立劇場
〒151-0071　東京都渋谷区本町１-１-１　☎03-5351-3011(代表) https://www.nntt.jac.go.jp/
●国立劇場おきなわ
〒901-2122　沖縄県浦添市勢理客４-14-１　☎098-871-3311(代表) https://www.nt-okinawa.or.jp/

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。